

生徒指導だより

玖珠美山高校

- ☆ 交通安全
- ☆ 自己責任・自己管理
- ☆ 時間厳守
- ☆ 状況判断

自分には自分に与えられた道がある。
 天与の尊い道がある。
 どんな道かは知らないが、他の人には進めない。
 自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。

松下幸之助



東西南北

「今朝、家を出ると、町の風景が変わって見えしました。」ある会社の入社式で新入社員の挨拶を聞いた。「昨日まで通り過ぎるだけだったビル、眺めることもなかった看板が気になる。仕事に関わるものがないかと周囲を見回す。社会人になるとは、そういうものかと思いがら、初めての出勤でした」四月は出会いの時間が続く。朝、バス停に立つと、新しい顔が並んでいる。新しいスーツから若さとキリッとした空気が車内に漂ってくる。県外から帰省して就職した人もいるに違いない。大分が直面する人口減少に思いをはせ、地域の未来は君たちにある、と声をかけたくなる。古い顔との再会もある。ここ、一、三年見かけなかった人がバスに乗ってくる。会社や官庁の人事異動で、通勤先から帰ってきたのだろうか。通勤バスの座席は、暗黙のうちにそれぞれ座るところが決まっている。新顔と古顔が加わり、社内の秩序が変わってくる。「出会いとは結局のところ、他者を介して自分自身との出会いである」。精神医学者の小林司さんの著書「出会いについて 精神科医からのノート」にこんな言葉がある。自分で気づかなければ、出会いはない、出会いとは自分を再発見することだ。そんな意味も込めているのだろう。新しい職場や学校で、いままで見えなかった何かに気づいたかどうか。通勤や通学の途中で、どんな人に出会っただろうか。四月になってほぼ一週間、それぞれの春が始まっていると思う。

2015 4 / 6



身を正すとは自分が信じている道を進むこと。自分の心への誠実さを持つ。周囲の外見的な規則や虚飾や虚勢を削ぎ落とし、自信を持ってシンプルに生きる。

諸君、誇り高く、毅然として胸を張れ。
 正義の心を持って。
 弱者を守り通す人であれ。

